

点検・評価の様式（手引版雛形）

政府統計コード	00450391
基幹・一般の別（選択記入）	その他の一般統計調査
調査の名称	健康保険・船員保険被保険者実態調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他（政策立案における基礎資料等の作成に利用）
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none"> ☐ 1.調査の目的 ☐ 2.調査対象の範囲 ※ ☐ 3.報告者数等※ { 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 } ☐ 4.報告事項とその基準期日 ※ { 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 } ☐ 5.報告の方法 ※ { 報告を求めるために用いる方法 } ☐ 6.報告を求める期間 ※ ☐ 7.集計事項 ※ ☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※ { 調査結果の公表の方法及び期日 } ☐ 9.使用する統計基準 ☐ 10.調査票情報の保存 { 調査票情報の保存期間及び保存責任者 } ☐ 11.立入検査 { 基幹統計調査のみ } 	一部不整合あり
-----------------------------	---	---------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
8. 調査結果の公表の方法及び期日※	<input type="radio"/> 公表実施時期 e-Statの掲載 その他	公表媒体 閲覧表	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 ○ 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定	公表遅延の要因は、過去に集計システムに対して不適切な改修を行ったこと及び報告データの不備の把握が遅れたことによるものである。前者については、当該の改修内容を改修前に戻す改修を行っており、令和6年11月には完了予定。後者については、業務負担を鑑みてエラーチェックを早めることで対応予定。
	特記事項 (○をつけた項目の概要を記載してください) 調査計画上の公表期日から3か月程度の遅延が発生した。				

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<ul style="list-style-type: none"> □ 課題なし □ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	---

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容（左記の類型） (該当するものを選択、複数選択可能)	見直し・改善の対応方法・手段 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)
記入欄 No. 1	調査計画の「10 使用する統計基準等」について、現在は「日本標準産業分類」を使用することとしているが、令和7年度調査より調査項目中の分類に項目を追加するに当たり、変更を検討している。 変更が必要と判断すれば、令和7年度調査に伴い申請予定。	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 <input type="radio"/> 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定
記入欄 No. 2	短時間労働者の適用拡大が進んでいるため、調査計画の「5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間（1）報告を求める事項 健康保険組合管掌健康保険被保険者、全国健康保険協会管掌健康保険被保険者に係る以下の事項。」の「（被保険者の状況）」に短時間労働者に関する項目を新たに追加する予定（令和7年度調査に伴い申請予定）。	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 <input type="radio"/> 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容(左記の類型) (該当するものを選択、複数選択可能)	見直し・改善の対応方法・手段 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)
記入欄 No. 3	調査票の提出について、現在は電子データによる提出を基本としているため、調査計画の、「6 報告を求め るために用いる方法 (2) 調査方法 【健康保険組合管掌健康保険被保険者調査票】 ②」の「報告者は、 ～地方厚生(支)局に郵送する。」の箇所を、記載を分かりやすく修正する必要があるかについて、精査を行 う予定。 精査後、変更が必要と判断すれば、令和7年度調査に伴い申請予定。	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 <input type="radio"/> 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予 定
記入欄 No. 4	業務マニュアルについて、令和5年9月に発出した実施通知における送付形式の変更や、フォルダ構成の変 更内容が反映されていないため、令和6年度中に業務マニュアルに反映を行う。 また、「業務マニュアル拡充のための手順書」及び令和5年度に実施した省内の業務マニュアルの点検結果 に従い、厚生労働省統計標準ガイドラインに基づき拡充スケジュールを設定し、令和7年度までに業務マニ ュアルの拡充を行う。	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 <input type="radio"/> 調査計画の軽微変更 <input type="radio"/> 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予 定
記入欄 No. 5	現在、オンプレミスである課内システムについて、令和7年度のクラウド移行に向けた改修のため、ブラック ボックスを避ける観点の元、調達仕様書(要件定義書を含む。)を作成した。調達は実施済みであり、今後、詳 細設計書を作成し、システム改修を行う予定である。	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 <input type="radio"/> DXの実施、データのデジタル化 <input type="radio"/> システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 <input type="radio"/> 調査計画の軽微変更 <input type="radio"/> 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し <input type="radio"/> その他	対応中/対応予 定

③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は3回前の調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	達成精度	約1400の健康保険組合、全国健康保険協会、船員保険と全ての報告者の回答を回収できているか確認している。また、回収率100%である他の統計(健康保険事業状況報告)と比較し、回収調査票数が十分であることを確認している。 なお、全国健康保険協会と船員保険は被保険者についても全数調査であり、また健康保険組合の調査対象の被保険者については抽出を行っているが、健康保険組合自体は全数調査であるため、回答に偏りは生じないものと考えている。 回収実績は右記のとおり。	—	令和4年調査 健康保険組合：1402 全国健康保険協会：1 船員保険：1 回収調査票数は別添を参照。	令和3年調査 健康保険組合：1402 全国健康保険協会：1 船員保険：1 回収調査票数は別添を参照。	令和2年調査 健康保険組合：1411 全国健康保険協会：1 船員保険：1 回収調査票数は別添を参照。
	回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	○ 設定なし					

直近3年分の抽出倍率の確認について

令和2～4年9月末日現在の事業状況報告書の被保険者数①と調査客体数②を比較すると、次表のとおりである。

R2

	被保険者数①	調査客体数②	抽出倍率 (①/ ②)
協会 (一般)	24,866,020	24,866,020	1.0
組合健保	16,557,251	165,918	99.8
法第3条第2項 被保険者	11,253	11,253	1.0

(注) 被保険者数については速報値である。

R3

	被保険者数①	調査客体数②	抽出倍率 (①/ ②)
協会 (一般)	25,143,626	25,143,626	1.0
組合健保	16,541,845	164,852	100.3
法第3条第2項 被保険者	11,174	11,174	1.0

(注) 被保険者数については速報値である。

R4

	被保険者数①	調査客体数②	抽出倍率 (①/②)
協会 (一般)	25,487,570	25,487,570	1.0
組合健保	16,573,502	166,182	99.7
法第3条第2項 被保険者	11,397	11,397	1.0

(注) 被保険者数については速報値である。